

ありがとう

校長 熊野真司

平成28年度が終わろうとしています。この17日に三年生は卒業式を迎え、本校から旅立っていきます。三年生は、この一年間、学校行事を始め、部活動や委員会活動などあらゆる活動で下級生の範となり、学校をリードしてくれました。本当にありがとう。先日行われた「三年生を送る会」でも、下級生の思いと三年生の思いが重なって、とても良い雰囲気の中、盛会に終わりました。多くの保護者の方々にもご覧いただき、ありがとうございました。保護者の皆様が三年間、温かく見守ってくださったことが今日の成長につながったと思います。感謝しております。伝統というものは、変わらずに脈々と受け継がれ、文化というものは、様々なものと融合して変化するといえます。貫井中学校のこの伝統がいつまでも引き継がれていくことを願っています。

さて、3月11日で「東日本大震災」から6年が経ちました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、未だに故郷にも帰れない多くの皆様のことを思うと、心が痛くなるばかりです。卒業生への最後の朝礼でも、「東日本大震災」について触れ、忘れてはいけないこととして心に刻み身近なこととして感じてほしい、困難にぶつかった時こそ力を合わせて乗り越えてほしいと話をしたところです。そのことも踏まえて、河北新報が「3.11大震災復興支援企画」で出版した「ありがとうの詩」から、一編の詩を誌したいと思います。

ありがとう

文房具ありがとう
えんぴつ、分度き、コンパス大切にします。

花のなえありがとう
お母さんとはちに植えました。
花が咲くのがたのしみです。

うちわありがとう
あつい時うちわであおいでいます。

くつをありがとう
サッカーの時とってもけりやすく、
いっしょけんめい走っています。

クッキーありがとう
家でおいしく食べました。

さんこう書ありがとう
勉強これからがんばります。

図書カードありがとう
本をたくさん買いました。

やきそば作ってくれてありがとう
おいしくいっぱい食べました。

教室にせん風機ありがとう
これで勉強
はかどります。

応えんの言葉ありがとう
心が元気になりました。

最後に
おじいちゃんを見つけてくれてありがとう
さよならすることができました。

気仙沼市 菊田 心(十一歳)

《 世界ともだちプロジェクト = クック諸島 = 》

南太平洋のほぼ中心に位置し、15の島々からなります。18世紀に英国の探検家クックがこの地域の諸島に上陸し調査を始めたのが名前の由来です。英国の属領からニューージーランドの属領になり、現在では、内政自治権を獲得し、ニューージーランドの自由連合として立憲君主制を布いています。人口は約19000人。首都はラロトンガ島にあるアバルアと言う都市です。南太平洋の秘宝とも称され、ポリネシアンの深い香りが漂う、美しい自然がいっぱいの魅力ある島々です。ソウル大会からオリンピックに参加しています。

